



今回も見所十分でしたよ～!!



フリーワールド 瀬戸内海ツーリングルート



シーズン開幕!!気の合う仲間と広がるPWCライダーの輪!! フリーワールド瀬戸内海ツーリング開催!!

ギネスブック認定!!世界一狭い土洲海峡をPWCで航行!!



DAY 1



集合場所に集まったメンバーはスロープでPWCを降ろすと当日の流れをミーティングで確認。ここでは当日の予定や走行ルート、安全面等について、お店からしっかりと説明が行われた。小豆島に上陸したメンバーは、まずイチゴ狩りを楽しむ事に。完熟した甘いイチゴを頬張り、メンバーそれぞれの顔も自然と笑顔になる。

名古屋の人気 PWC ショップ フリーワールドが今年初のツーリングイベント『瀬戸内海ツーリング』を開催した。フリーワールドは去年も名古屋港、セントレア、伊勢湾、瀬戸内海、西伊豆エリアにツーリングへ出掛けており、年間を通じたイベントで非常に活気に満ちているショップだ。今回はフリーワールドが香川県高松市にオープンしたフリーワールド高松店が主催する瀬戸内海ツーリングを取材させて頂く事に。イベント当日 PWC を降ろし終えたメンバーはライダーズミー

ティングを行う。今回は高松店店長の玉井氏を中心にツーリングに出発。フリーワールド主催のツーリングでは代表の成田氏を中心となり、マナーをしっかり守りながら安全面にも十分注意したツーリング行程が組まれているため、初心者でも安心して参加する事が出来る。また、ツーリングコースも毎回見所満載のコースを計画してくれており、参加者からの人気も非常に高い。また、参加者同士の仲も非常に良く、イベント中の雰囲気も良いので初参加のライダーでも快く受け入れて



瀬戸内海の穏やかで自然溢れる風景を楽しみながら参加者はツーリングを満喫。海のコンディションも非常に良く、PWCで走るには最高の条件が揃っていた。瀬戸内海の風景は無理して遠くまで走らずとも次々と変わるため、ツーリングにはもってこいのフィールドである。ライダー達の表情も実に生き活きとしていた。

くれる雰囲気である。そんなフリーワールドのツーリングに参加したのはそれぞれのお店を拠点にPWCを楽しんでいる17名!!午前9時、予定通り小豆島を目指し出発。約1時間程で小豆島へ上陸したメンバーが楽しんだのは新鮮で水々しいイチゴを堪能出来るイチゴ狩り。サイズの大きなイチゴから真っ赤に染まった形の良いイチゴまで、メンバーは絶品のイチゴを心ゆくまで味わっていた。その後は小豆島で小休止してエンジェルロードへ向けて出発。エンジェルロードは1日2

回の引き潮の時にのみ現れる砂浜の道で、近隣の4つの島を砂浜の道で結んでいる。ここで集合写真を撮ったメンバーは数分の距離にある次の見所ポイントへ。そこは小豆島と前島間の海峡で、ギネスにも認定された世界一狭い海峡(最狭幅 9.93m)の土洲海峡だ。全長 2.5kmの長さを PWC で走るのも普段なかなか出来ることではなく、メンバーも非常に楽しそうであった。土洲海峡を抜けたメンバーが次に目指したのは犬島だ。この島は自然豊かな島で、島内には芸術性



取材協力:(有)フリーワールド 愛知県名古屋港区西福田一丁目2015番地 TEL 052-303-3311 URL freeworld.car.coocan.jp/
フリーワールド 高松店 香川県高松市十川西町213番地7 TEL 087-887-0597

DAY 2



2日目は地元の人だけが知るうどんの名店巡りへスタート。早朝から行列を作る人気店でうどんに舌鼓を打つメンバー。卵とバターが相性抜群のうどんを食べる。



2件目は神社の中にあるうどん屋へ行くことに。優しい味わいのうどんを楽しめるとともに、神社内で参拝も出来てしまう見所溢れる観光スポットであった。



3件目の前には道の駅でお土産を買いつつ散策し、3件目のうどん屋へ。歯ごたえ十分のうどんを完食。これぞ本物のうどん!!と言いたくなる程旨いうどんだった。



犬島に上陸したメンバーは昼食会場までの道程を歩きながら島を散策。斬新で見ると目を惹きつける程に芸術性の高い展示物に思わず目を奪われてしまう。



犬島から女木島へやってきたメンバーはモアイ像の前で仲良く記念撮影。まだメンバーの表情に疲れの色は見えない。



帰りは淡路SAでお土産を購入。海苔の佃煮やアイスを購入し、少し一休み。



香川県にあるフリーワールド高松店。瀬戸内海でのツーリングも提案してくれる。

豊かな建物が至る所に並んでおり1日散策しても楽しめてしまいそう
だ。ここでは待ちに待ったランチの時間だ。訪れたのは犬島内にある『Ukicafe(ウキカフェ)』。ここでは新鮮なイダコの旨味と上品なトマトソースで味わう絶品パスタ等を味わう事が出来た。ランチの帰りには犬島に残る銅製錬所の遺構を保存・再生した美術館を背景にここでも記念撮影。神秘的な魅力を秘める建物の雄大さにメンバーはしばらく見入っていた。犬島を出発したメンバーは女木島(通称鬼ヶ島)へ向けてPWCを走らせる。こうして実際に走っていると瀬戸内海は本当に気持ちの良いフィールドであるという事に気付く。様々な島や穏やかな海が周りの山々に囲まれ、それを眺めながら自由気ままにPWCを進めるだけでも実に贅沢な時間であると言える。女木島に着いてからは島を簡単に散策しながらモアイ像を目指す。随所に桃太郎伝説を思わせる展示物が見られ島内には大洞窟もあるとのこと。ここではモアイ像の前で記念撮影を行い、あとは瀬戸内海の海を再び堪能しながら目的地に向けて走り始めることに。16時頃には出発地点に到着し、瀬戸内海ツーリングはここで初日が終了。今回も安全面に十分配慮されつつ見所抜群のツーリングとなっていた。そしてツーリング2日目には高松市内のうどんの名店を巡るツアーがスタート。ここでは玉井氏お勧めの絶品うどんが食べられるお店を3件ハシゴし、メンバーは本場香川のうどんを満腹になるまで味わう事が出来た。こうしたご当地でしか出来ない遊びもツーリングに組入れることで旅の思い出もより一層膨らむのだ。今年も盛大に幕を開けたフリーワールドのツーリングイベント。名古屋の人気PWCショップが仕掛けるイベントはまだまだ沢山開催されそうなので、是非注目して欲しいと思う。